

◆戸別収集・有料化説明会 Q&A

平成 26 年 2 月 3 日(月)午後 6 時 30 分から午後 8 時 15 分

場所 深沢学習センター

参加者 95 名

- 1 市のごみ処理体制の考え方
- 2 意見公募（パブリックコメント）の結果
- 3 有料化の具体的な内容
- 4 質疑

Q 有料化については全国の 61 パーセントの自治体が実施しています。これは国が推進していても命令ではないので、100 歩譲って有料化するにしても、市民の負担を少なくするべきではないでしょうか。住民投票とか第三者のアンケート調査をして、もっと市民の声を優先すべきだと思いますが。

A 住民投票とか第三者のアンケートで賛成反対をとることは予定をしてません。ごみ処理全体を考えていく中で、ごみ減量・資源化の一つの手段として、この施策をお願いいたします。

Q 月 500 円の負担の試算というのはなぜ試算値なのですか。藤沢市や大和市では実績値が出ていていると思います。実際には月 1,000 円以上かかると思うのですが、どうしたら 500 円で抑えられますか。

A アンケートの中で 20 リットルが多いので月 8 回燃やすごみの 320 円と燃えないごみでおおむね 500 円を試算しています。藤沢市で聞いたところでは大体一世帯あたり 500 円と聞いています。

Q 処理費用を他市に委託する場合 1 億 500 万円のコストがかかるとのことですが、各家庭から毎月 150 円ずつ集めれば、7 万世帯で年間 1 億 2600 万集まります。月 500 円の負担を求めるのか 150 円で済ませるのは市民に選択してもらうべきではないのでしょうか。

A 自区外処理は計算上安くできますが、新焼却施設を建てるまでということであつても持ち込まれる自治体の周辺住民の感情を考えれば、長期にわたって継続的かつ安定的にお願いできるものではありません。

Q モデル地区は山間の地区です。戸別収集に向いている所でデータを集めているので、モデル地区の選択としては不適切では無いでしょうか。今泉台とか大船駅周辺の交通渋滞ある所も調べないとモデル地区にならないのではないのでしょうか。

A 山ノ内では商業地域混在地域であります。七里ガ浜については住宅地として開発されているところとなっており、それぞれ特徴のあるモデル地区であります。

Q 住民の理解が得られていないということですが、どういう点で思われているのですか。

A 6 月以降、説明会、広報かまくらや特別号を配布して説明を重ね、10 月の市長選挙や意見公募（パブリックコメント）を通じて感じました。

Q 市民に知らせる内容や他市の実績を細かく説明した上で、本市の進む方向をしっかりと示すとともに、市民へ分別意識を高めるような説明が必要ではないのでしょうか。

A 出来る限り分かり易い説明をという所で努力しているところですが、皆様からのご意見を反映してより分かり易い説明をしていきたいと思ひます。

Q 施策を進める理由が分かりにくいです。新しい収集方法がどういうものなのかが分かり

ません。どのようにお金を払うのかというのも分かりません。そこを聞きたいです。意見公募を実施したといいますが、141 件しか聞いてないので参考になりません。

A 広報かまくらや特別号の配布を行い、説明会を実施してきましたが、その辺の説明が少なかったことは申し訳無く思っています。

有料化というのは、市の指定する有料の指定袋を購入し、その指定袋を使用して排出していただくことを指します。

Q なぜ、今まで焼却炉の建て替え等の対応をしなかったのか。広域の計画が進んでいたからという理由だけでは済まされないのではないのでしょうか。なぜ、ここまで対応が遅くなってしまったのでしょうか。

A 平成 10 年頃から三浦半島地域という広域で処理していこうという考えがあり、各自治体が最終処分場や焼却場といった役割分担を行う考えでした。その後、神奈川県全体のごみを一カ所に集めるというエコループプロジェクトという構想が出てきたため、鎌倉市はそちらの方がより効率的ということでそちらに移ったのですが、その計画が頓挫します。そこで、以前の広域処理の枠組みに戻ろうとしたのですが、横須賀市、三浦市、葉山町と一緒に事業を行うことが難しくなりました。

その後、逗子で焼却施設、鎌倉で生ごみの資源化という方向で進めようとしたため、焼却施設を持たなくてよいという見通しがございました。

しかしながら、逗子市の市長が変わったこともあり、逗子市が鎌倉市の焼却ごみは受け入れられないという結果となり、鎌倉市が自区内で焼却施設を建設する必要が出てきたという経過がありました。後手に回ったのは事実ですが、安定かつ継続的にごみ処理体制を構築していくには、焼却施設が必要な状態となっています。

Q 家庭ごみを他市と比べるとより多く、コストについてもはるかに多くかかっています。鎌倉市の一人当たり処理費も高いが、ごみの量が変わらないのに平塚市に比べて倍位になっています。その理由はなぜでしょうか。

A 平塚市と比較して特徴的なのが、最終処分場がない本市は熔融固化処理を行っています。平塚市は最終処分場を持っているので比較的安価です。また本市はリサイクル率も高いことから収集運搬も含め処理経費が多くかかっております。

Q 手数料収入、有料化に係る経費がいくらか見込んでいますか、あと内訳はどうなっているのでしょうか。

A 手数料収入は今は半期で約 1 億 8,000 万円を試算しています。有料化にかかる経費は指定収集袋の作成費、分別指導員経費、看板等普及啓発費用で当初は約 1 億 5,000 万円位かかると試算しています。

Q 市長や市議会議員の方々に、ごみ焼却場の建設計画の検討はあったのでしょうか。

A ごみ焼却施設についての計画の検討はありませんでした。

Q バイオマス施設は費用対効果が曖昧ということですが、焼却では処理しきれないので、バイオマス化の方が良いのではないのでしょうか。汚水残渣も一緒に処理できると考えていますが、メタン発酵で発電して、売電まではいきませんが、施設内の電気などをまかなえるのではないのでしょうか。飛騨市、北海道、京都などでやっているようです。

国からも補助金が出ますし、今では安くできるようになりました。もう一度バイオマス施設を考えてください。

A 私が市長に就任してから、計画を見直しをしたのは事実です。バイオマス施設を作った

としてもごみの焼却施設は作らなくてはならない。現在の財政状況では、大きな施設を 2 つも作ることは考えられないです。今の本市のおかれている状況からするとごみの焼却炉を作って安定的にごみ処理することが大切だと思います。

Q 有料化かかる経費が 1 億 5,000 万円ということですが、新年度予算に組み込まれるということでしょうか。それは税金を使ってということですから、税金の無駄遣いはやめてほしいです。世界遺産登録にいくら使ったのですか。

A 世界遺産登録はおよそ 5 億円かかったと報告しています。

Q 文化人会議については、今現在どうなっているのですか。

A 鎌倉市は関わっていない会議で税金は投じられていません。

Q 世界遺産登録の部署はなくなったのですか。

A 世界遺産登録の部署は残っていて、協議会については終了しています。

鎌倉の歴史まちづくりについては特に重要だと考えています。

Q 市役所にもパンフレットが置いてありますが、生ごみ処理機をもっと普及させるべきです。市の補助金で買って、かなり減量効果があります。

処理機を使って発生した堆肥については、植木の日に無料で収集するなどしてもらいたい。

A 私の家でも黒土を使った処理機を使用しておりまして、5 年間生ごみを出してません。各家庭の事情もありますから全市民ができることではないと思いますので、今後色々な形で情報を発信をしたいと思っています。

Q 「あと何パーセントで減量達成しますよ」などそういったインセンティブを設けることも必要ではないでしょうか。

A 参考とさせていただきたいと思います。

Q 新焼却施設については、深沢の旧国鉄清算事業団用地に作るというのはないですね。それだけ確認させてください。

A 新焼却施設については、大きな土地が必要になってくる。土地の大きさの部分で深沢も候補として挙がってきています。

Q ごみが有料化になった場合、前提となるのは議会の承認ですが、承認が得られた場合、ごみ問題が解決するような場合は、時限立法として考えているのでしょうか。

A 現在では時限立法とは考えてません。ごみを減らすのはこれからずっと取り組まなければならない問題です。

Q 3 万トン以下にするのであれば、達成すれば無料に戻すということでは筋が通らないのでは。

A 新焼却施設の建設にあたっては、どれ位の量のごみの焼却を行う施設を建設するかということ想定することになりますが、ごみを減らした上で焼却せざるを得ないごみの量に対応する施設規模の建設を考えています。

そのため、ごみを減らしていくことはこれから継続して取り組むことが重要であることから、これを続けていきたいと考えてます。

【ご意見】

- ・ 世界遺産登録を推進するより、まちづくりやごみ問題に取り組むべきです。税金の無駄遣いを今後しないようにして下さい。
- ・ 全国でバイオマスをやっていますが、コストを考えてやめたというのはベストの選択だったと思います。失敗では済まされません。取り返しのつかないリスクは避けるべきです。

議会はバイオマス、市側は戸別収集・有料化と考えているようです。コストを数値化して、議会と市側での話し合いで解決すべきだと思います。

- ・ 有料化は賛成です。ただ 21 ページのようにステーション収集ということになるとトラブルが多くなると思いますので、住民と市側とで共同で対応していただければと思います。
- ・ 資源物なのに住民の方は、資源物と認識せずに燃やすごみに入れているように思います。周知の際にそのような点に配慮いただければと思います。
- ・ 生ごみをお金をかけて焼却場に持って行って燃やすということに罪悪感を感じている。コストをかけて生ごみを処理するのはどうなのでしょう。

生ごみ処理機を広めたいという方がいました。畳半畳程度の土の中で生ごみを処理できるので、有料化となった場合でも燃やすごみの半分である生ごみを処理できるので、私自身そういったことに今後も取り組んでいきたいと思います。

- ・ 有料化については賛成ですが、戸別収集も今後の状況を見ながら判断されるということには分かりました。ごみの有料化は下水と同じで受益者負担であるということを盛り込んだ方が良くと思います。不法投棄でパトロールについてもしっかりやってほしいと思います。

前回の資料で 4 億 5,000 万円の歳入試算があるので、そういった資金を元になるべく早く新施設建設等に進んでいってほしいと思います。

- ・ 鎌倉市に喝を入れたいです。鎌倉市の総合計画やごみ処理基本計画ではどうなっていますか。それに基づいて業務を執行していないのはおかしいのではないのでしょうか。今更ごみを姑息な手段で減量しようとしているので、もっと計画の部分から考えていただきたいです。

